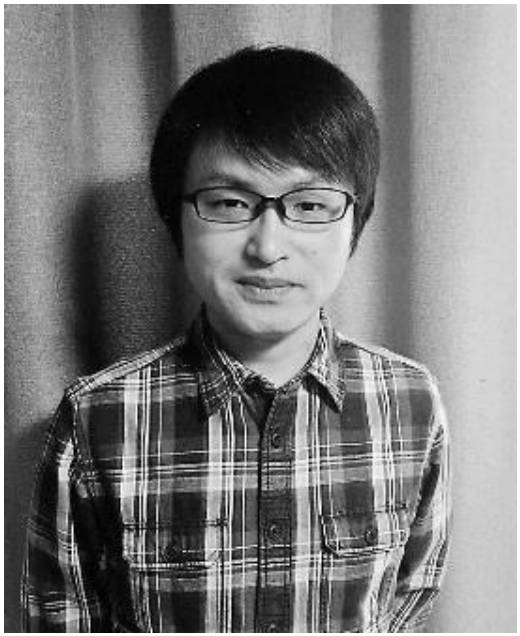

著者プロフィール

村上鞆彦（むらかみ・ともひこ）

昭和 54 年（1979）　大分県宇佐市生まれ
平成 10 年（1998）　「南風」入会
　　鷲谷七菜子、山上樹実雄に師事
平成 14 年（2002）　早稲田大学第一文学部卒業
平成 18 年（2006）　南風賞受賞
平成 23 年（2011）　南風編集長就任
平成 26 年（2014）　南風主宰就任（津川絵理子と共宰）

現在　南風主宰・編集長、俳人協会会員
共著　『新撰 21』等

〈句集『遅日の岸』より転載〉〈2015 年 4 月 27 日時点〉

『遅日の岸』（自選15句）

村上　鞆彦

花の上に押し寄せてゐる夜空かな
鳩は歩み雀は跳ねて草萌ゆる
投げ出して足遠くある春昼かな
初夏の木々それぞれの名の眩し
吊革のしづかな揺れ梅雨に入る
松の影ゆれて松風蟻の道
振り消してマッチの匂ふ秋の雨
団栗の青きが握り拳の芯
秋の雲いくつ流れてシャツ乾く
曼珠沙華つめたき蕊の絡み合ふ
枯蟷螂人間をなつかしく見る
鴨撃つて揺るる日輪水にあり
灯ともりて窓あらはるる無村の忌
あをぞらをしづかにながす冬木かな
ガラス戸の遠き夜火事に触れにけり